

2020年度 クリスマス待望連禱会のご案内

「文学の中のクリスマス」

主のご降誕の恵みを覚えるアドヴェント(待降節)の開始を11月29日に控え、皆様の上に神様の祝福を心よりお祈り申し上げます。この一年も様々なことがございました。よいこと、嬉しいことばかりでなく、心にかかること、苦しかったこと、悲しかったこともございましたが、主の御祝福のもとにすべてを恵みに変えられ過ごすことができましたことを覚え、感謝をいたします。教会では、アドヴェントに入り、教会歴の新年を迎えることとなります。主イエス・キリストのご降誕を祝う準備を始めることをもって新年とした、代々の教会の信仰を私たちも継承して参りましょう。

そして何よりも、皆様とご一緒に、苦難と悲しみの中にもたらされる希望と喜びを味わいつつ、クリスマスを待ち望むことができますよう、今年も、「クリスマス待望連禱会」を下記の通り開催いたします。今年のテーマは、「文学の中のクリスマス」です。

クリスマスの持つ使信について、クリスチャンであれ、ノン・クリスチャンであれ、多くの文学者たちが自らの作品として描いています。それぞれの豊かな表現の中に、御子ご降誕の喜びと再臨の希望を読み取りつつ、心静かに祈りのときを持つことができればと願っています。

どうぞ奮ってご参会いただき、共に心を改め、信仰の姿勢を正しましょう。そして新しい年も、キリストの聖霊が私たちの内に降臨されるよう祈りましょう。



記

日時 11月11日～12月23日 毎週水曜日 午前10時00分～11時15分

会場 教会1階 第二礼拝堂

内容 (変更することもあります。)

回	日程	内容
1	11月11日	柴崎聰「クリスマスと文学」(1) 外国文学から —ウィーダ、ヘンリー、ディケンズ、モンゴメリ
2	11月18日	柴崎聰「クリスマスと文学」(2) 日本文学から —ディケンズ、モンゴメリ、北畠八穂、きどのりこ、松田明三郎
3	11月25日	三浦綾子『イエス・キリストの生涯』より
4	12月2日	小川國夫『イエス・キリストの生涯を読む』より
5	12月9日	木崎さと子『小説・聖書の女性たち』より
6	12月16日	芥川龍之介『少年』、太宰治『メリイクリスマス』より
7	12月23日	阪田寛夫『讚美歌 こころの詩』より

2020年10月18日

日本基督教団 小倉東篠崎教会